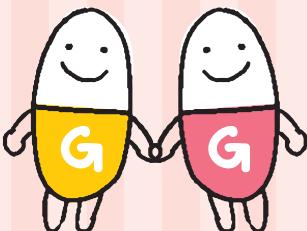


ジェネリック医薬品 を使ってみませんか

安心

ジェネリック医薬品は
国の厳しい審査をクリア



未来

優れた医療保険制度を
次の世代に引き継ぐ

近年、医療技術の高度化や高齢化にともない、年々医療費は増加しており、皆様の保険料にも影響しています。

ジェネリック医薬品の使用は、みなさまのお薬代の自己負担を軽減するだけではなく、一人ひとりの保険料上昇の抑制につながる効果も期待できます。

また、少子高齢化が進む中、現在の優れた医療保険制度を維持し、次の世代に引き継いでいくことにも貢献します。

ジェネリック医薬品（後発医薬品）をご存知ですか？
お薬代の節約を考えてみませんか？

ウラ面をご覧ください

ジェネリック医薬品のご使用については、
医師・薬剤師にお気軽にご相談ください。

高血圧や糖尿病の他、さまざまな病気や症状に対する
お薬が丸薬、カプセル・錠剤・点眼薬などの形態も多彩に
あります。新しい技術で、味や飲みやすさ、使用感が改良
されたものもあります。

* 病気の種類によっては、新薬での治療を必要とするものや、
ジェネリック医薬品がない場合もあります。



ご存知ですか？

ジェネリック医薬品(後発医薬品)



Q ジェネリック医薬品ってどんな薬？

A ジェネリック医薬品とは、先発医薬品（以下、「新薬」）の特許がされた後に販売される医薬品で、新薬と同等の有効成分、效能・効果を持った安価な医薬品です。



Q 効き目や安全性は？

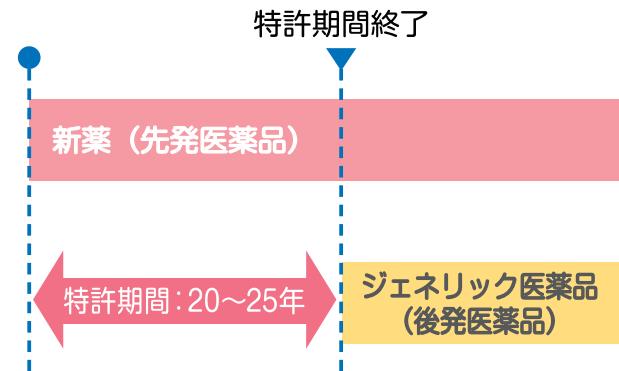
A 新薬とジェネリック医薬品は、全く同じ薬ではなく、形や色、味などが異なりますが、ジェネリック医薬品は、国の厳格な審査を受け、新薬と効き目や安全性が同等であると厚生労働大臣の承認を受けたものです。



Q なぜ安いの？

A 新薬は長い期間をかけて開発され、開発費が高額となっているのに対し、特許が切れた後に製造されるジェネリック医薬品は短い期間で開発でき、開発費が安く抑えられるため、ほとんどが低価格となっています。
新薬の5割程度、なかにはそれ以上安くなる薬もあります。

新薬の特許有効期間とジェネリック医薬品



ジェネリック医薬品による治療を希望するときは・・・

ジェネリック医薬品は医療用医薬品ですから、病院や診療所の医師による処方せんが必要です。

処方せんの変更不可欄に「✓」や「✗」の記載と医師の署名又は記名・押印がない場合は、医師や薬剤師と相談のうえ、患者自身がジェネリック医薬品か新薬かを選択できるようになっています。
主治医の先生または薬剤師に「ジェネリック医薬品を希望する」意思をお伝えいただけでかまいません。

